

子どもが住みよい地域にしたい！



# 「こずっち会議」

@新富

発行) 柏市役所 地域づくり推進部 地域支援課 問合せ: 04-7167-1126 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

■日時 令和元年11月23日(土)午前10時から12時

■場所 新富近隣センター 多目的ホール



### 意見交換

A~Dの四つのテーブルに分かれて、意見交換をしました。



### リラックスしながら

飲み物やお菓子も用意されて、和やかに話し合いました。



### 意見の見える化

模造紙に参加者の意見を貼ることで、意見を見える化しました。



### 発表

最後に、四つのグループから、話し合いの内容を報告して頂きました。

これから、私たちの住むまちを良くしていくには、「みんなが顔見知りになることからが第一歩じゃない？」と思い、そのきっかけづくりとして、ふるさと協議会と子育て世代の方々に「子どもが住みよい地域にするには」というテーマで意見交換をしました！当日はたくさんの笑顔でたくさんのおしゃべりをして、お互いがどんな考えを持っているのかを知ることができました！  
くわしくは裏面をご覧ください！



「こずっち」とは、「子(どもが)住(みよい)地(域)」の愛称です。

# テーマ 子どもが住みよい地域にするには

## ■出席者

新富地域ふるさと協議会 8名  
新富地域に住む若い世代 9名

@新富



## ふるさと協議会とは

町会等は、わたしたちの生活に最も身近な活動団体です。柏市独自の「ふるさと協議会」は、町会等の枠を超えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として期待されています。



## いまやっていること



- ・子どもたちが来やすいのは「学校」。学校は親も行きやすい。また子どもを安心して送り出せるのも学校。
- ・PTAに入ると地域のイロイロな情報が入ってくる。
- ・子供を見守ってくれる大人がいて助かっている。(共働きが多いので)
- ・ふるさと協議会に入ったきっかけは子ども会。若いうちに参加してかわいがってもらえた。
- ・子どもの自立のため、目をかけても手は出さない。
- ・「祭り」の時は、普段声をかけられない子供にも声をかけられる。→毎年子どもの方から声をかけてくれるようになった。
- ・ふるさと協議会のイベントを子どもが楽しみにしている。→地域の大人にほめてもらうのがうれしい。



## これからやれたらいいなと思うこと

- ・子どもにとって知ってるおじさん、おばさんが増えたらいい。
- ・授業参観(5限)の前の昼休みとかに集まるとよいかも。
- ・子どもの意見を聞く場もあるといいな。
- ・高齢者ではなく、子どもの支援に力を入れたい。
- ・子供ども達にも決めさせる、任せる機会が必要。
- ・お互いに何かを求めるのではなく、自分から何かをやってあげられるような地域だと良い。みんなが負担なく。
- ・子どもを家だけではなくそれ以外の世界にほうりこむことが大事。
- ・子どもが楽しむ前に大人も楽しむことが大事。
- ・子どもがどう思ったか? →「思い出」に残る → 「町会・地域」への思いが強くなる。→大人になって地域で活躍できる。
- ・子どもが「得意」なことを活かせるような「参加型」がいい。
- ・世代を分けずに皆で行う。
- ・子ども会の復活。
- ・長期休みの子どもへ支援が必要だと思う。
- ・未就学児、未就園児への支援がぬけおちている。



## 参加して感じたこと

### 【熟年世代】

- ・参考になった。ふる協はもっとアピールし魅力ある活動の企画が必要。
- ・世代により色々な考え方はあが、良くしたい思いは同じだとわかった。

### 【若い世代】

- ・多くの世代の方が子どものことを思ってくれていることに感謝できた。
- ・もっと色々な方に参加してもらえたら、楽しい会になる。自分自身ももっと地域に関わっていきたいと思う。



そのほかの地域で行なわれた  
こずっち会議はこちらから→

